

青少年センター運営委員会 会議概要

- 1 審議会名 青少年センター運営委員会
- 2 日 時 平成28年 8月18日 午前10時から午前11時まで
- 3 会 場 安曇野市役所 3階会議室305
- 4 出席者 内川会長、片桐副会長、望月委員、佐々木委員、百瀬委員、中沢委員、
水谷委員、戸塚委員、有賀委員、萩原委員、久保田委員
- 5 市側出席者 蓮井課長、松岡係長、小平主査、幅指導員
- 6 公開・非公開の別 公開
- 7 傍聴人 0人 記者 0人
- 8 会議概要作成年月日 28年 8月25日

協 議 事 項 等

◇会議の概要

- 1 開 会
- 2 会長あいさつ (内川会長)
- 3 報告事項
 - (1) ライオンズクラブ、ロータリークラブからの青少年委員推薦について
安曇ライオンズクラブ 唐澤 佳秀さん
明科ライオンズクラブ 岩垂 由美子さん
穂高ライオンズクラブ 推薦者なし (断りの連絡あり)
あづみ野ロータリークラブ 推薦者なし
 - (2) 6月11日開催、ジュニアリーダー養成講座について
小学生27人、運営委員会委員2名、育成会常任委員5人出席
 - (3) 「CHUKOランドチノチノ」視察について
視察予定日：平成28年10月11日 (火)
 - (4) センターへの相談について
6月～7月：1 案件
 - (5) 長野県中信子ども・若者支援地域協議会の設置について
不登校・ニート・引きこもり・発達障害などの子ども・若者が対象
特定非営利法人「ジョイフル」が県より委託され運営
 - (6) 7月15日 第41回長野県青少年補導活動推進大会 (飯田市) について
内川会長、望月委員、戸塚委員、事務局2名参加
 - (7) 夏の街頭巡回について 8月8日、9日市内5地域において実施
- 4 協議事項
 - (1) 青少年センター講演会の内容について
 - (2) 視察での質問事項について
 - (3) その他
 - ①センターだよりについて
- 5 閉 会

◇協議事項概要

- (1) 青少年センター講演会の内容について (事務局より説明)
 - ・講演会予定日：平成28年11月6日 (日)
 - ・対象者：青少年育成団体関係者、小・中学生の保護者 60名程度
 - ・講演内容
安心ネットづくり促進協議会 (株式会社 DeNA 講演会)
「ケータイ、インターネットを安心・安全に楽しむための講座」
セーフティーネット総合研究所 「ネットトラブルに関する啓発講演」
「コミュニケーションの取り方について」 (笑顔が大事)

(委員) 中・高校生、小学生も含め、子どもや親が陥りやすい物は、やはりスマホだと思うのでスマホの問題を取り上げてみたらどうか。笑顔が大事というような話は公民館などで実施していると思う。スマホ、ネットもいろいろなところで実施していると思うが、難しい。以前は高校生からの問題と思われていたが、どんどん年齢が下がり、現在は小学生から問題となっている。小学校高学年から中学生の子を持つ親に講演内容の希望を聞き、株式会社 DeNA をお願いするのはどうだろうか。

(委員) 日程は問題ないと思う。スマホは問題になっていると思うが、安全と言うよりそれ以前の問題であって、小学生がスマホを持っていること自体がおかしいのではないかな。なぜ子どもが携帯を持つのか。その方が問題。働く親の増加で仕方がないかもしれないが、使用範囲が決められた携帯があるので、そのような携帯を持たせるべきでは。ゲームが出来るスマホまで持たせる必要があるのかと思う。また、DeNA の会社は出会い系サイトの会社ということでスポーツ振興に関わってもよいのかという問題があったと思うので、同様に青少年育成に関わるのはどうかと思う。

(課長) 子どもとの連絡のとり方について、今の親は親からの着信だけにする方法を知らないし、設定をするには 2 種類の機械、 아이폰とアンドロイド系と言われている部分ですが、それによってやり方が違っていると、もう一つやっかいなのは SNS で、これは会員登録をした人の中でしか内容が見られないというもので、一時のいじめの中傷のメールや学校裏サイトなどは他の人が 見る事が出来たが、SNS はそのネットワークに参加または認めてもらわないと内容を見る事が出来ないの、問題が深くなってきています。DeNA の会社ならその辺のことをうまく話せるのではないかと思います。小学生に携帯を持たせることは、非常に問題だとは思いますが、いらないんじゃないかというキャンペーンをするということは、将来的に検討してもよいかと思う。目の前にある危険なことと言うと、例えばポケモン GO は爆発的に広がっていて、子供達は親しみやすさのなかでゲームをやって、エスカレートしていきませんが、このゲームも課金システム、お金を払いアイテムをゲットするような部分もありますので、タイムリーな話題を含めて話していただけるのではと思います。

(担当) ある小学校の 6 年で、携帯を持っているのは 1 割弱だそうです。ただ、ゲームは持っています。そして、1 日にゲームをする時間は 2～3 時間が多いようです。ただ、9 時間以上する子も 1 割あったようです。また、インターネットで検索するのは、出会い系サイトと残酷系サイトを見る傾向があるようです。

(委員) 現実的なことが聞けて良かったです。

(委員) 子どもが携帯を持っている率は多くなくても、大人のスマホを使って子どもが悪さをするようです。そんな危険性を親も子供も認知することが大事だと思う。親の目の前で使わせるということを徹底させる必要がある。そういう面からみるとセーフティネット総合研究所の方が良いのかなと思う。親の関心事や親の意識改革、持たせる場合の対策など内容を入れて講演してくださると良いと思います。

(委員) 今のスマホは指紋認証システムがあるはず。子どもへの対応という面ではそんな物も有効なのかなと思うので、そんな話も含めて聴けると良いと思います。

(課長) 아이폰系と呼ばれるものは指紋認証ロックがありますが、パスワードでも起動できるので、パスワードを子どもが覚えてしまえば、無効です。だいたい、指紋認証ロックかパスワードロックをしておくのが基本です。将来的には音声ロックになると思われれます。

(委員) セーフティネットで考えてもらいたい。

(委員) 先日、公民館で球技大会があった際、一日がかりになるので持参した弁当を食べていたところ、子ども 3 人が弁当を踏みつけて通って行ったんです。ゲームに夢中になっていたのですが、セーフティネットの問題も聴きたいが、躰の問題も含めて聴きたいと思います。

(課長) スマホを見ながら歩いている人を見かけますが、おそらく半数以上がゲームをやっていると思います。ネットの検索や音楽を聴いている人もいますが、スマホだけでなくゲームも通信が出来るものがあります。そのように様々な機器があることを親が理解することが大事です。また、関連する専門用語を知ることも必要かと思いま

す。講演については、どちらの会社にするのかは事務局にらせていただいて、ネットワーク系の危険性を題材にして、保護者の方々に初歩からハイレベルな部分まで話してもらうことが必要かと思います。ネットが危険というのはわかっているけど具体的にどうしたらいいかわからないという意見もありますので、「あなたの携帯または子どもの携帯、どうなっていますか」というような話が必要かなと思っています。

(事務局) 日程は予定通りで行います。内容は子ども達が使っている携帯やゲームの危険についてにしたいと思います。業者については予算を考慮して決めさせていただきます。

講演の内容について要望があればご連絡ください。

(2) 視察について 質問事項

他機関との連携について (組織、職員配置、地域・学校等との連携はどうなっているか)

事業内容について (年間活動、一日の活動、大人との関わりはどうなっているか)

8 月中に質問事項をまとめ、あらかじめ文書で質問をお願いしたいので、他に質問事項があれば今月中に事務局までご連絡ください。

(3) その他

①センターだよりについて

10月発行の広報に「子どもを性被害から守るための条例」について、明科地域青少年育成市民会議の紹介、穂高地域の講演会、ネットスマホの安全教室の記事を掲載予定